

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善										
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の方向性	H29年度 予算額 （千円）	H30年度 予算額 （千円）	事業費の増減	人件費（目安）			H28年度 事業評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H28年度 局施策評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）		
					指標名等	現状値 （基準値）	H28年度	H29年度	H30年度					中期 目標	金額 （千円）	職位					人数	
I-1-(2)-⑤ 子どもの特性を伸ばす教育の充実	1	博物館セカンドスクール事業	自然・歴史博物館普及課	博物館を第二の学校と位置づけ、修学旅行・社会見学など学校教育の一環として、子どもたちの博物館利用の促進を図るものである。	学校団体誘致数	1,116団体 (H24年度)	目標 1,200 団体 実績 1,382 団体 達成率 115.2 %	1,200 団体	1,200 団体	1,200 団体	1,200団体以上 (毎年度)	継続	1,857	1,617	減額	16,075	課長	0.05 人	順調	計画的な誘致活動を実施したことで、来館した学校団体数・入館者数ともに目標を達成した。今後も、効率的な誘致活動で子どもたちの来館機会を創出し、更なる来館者増を目指す。	順調	効率的な誘致活動を実施し、施設の認知度を高め、子どもたちが文化・文学に接する機会を提供する。
	学校関係入館者数	78,290人 (H24年度)	目標 80,000 人 実績 91,400 人 達成率 114.3 %	80,000 人	80,000 人	80,000 人	80,000人以上 (毎年度)	係長	0.50 人	職員	1.40 人											
2	文学館普及研究費	文学館	北九州市ゆかりの文学者の業績を企画展等で紹介するとともに、本市の文芸の振興に功績のあった文学者を市内外に発信する。	入館者数 (単位：人)	10,741人 (H23年度)	目標 22,000 人 実績 24,743 人 達成率 112.5 %	22,000 人	22,000 人	22,000 人	22,000人 (H30年度)	継続	18,624	19,455	維持	12,625	課長	0.50 人	順調	施設の認知度を高め、これまで以上に市民が文学に接する機会の提供に努め、入館者数の増に繋げるもの。			
						達成率										係長	0.50 人					職員
I-1-(3)-② 家庭教育支援の充実	3	家庭・地域・学校パートナーシップ事業	生涯学習課	家庭教育学級や子育てサポーターなどの活動を通じて、保護者の不安を軽減するため、関係機関や関係部局と連携しながら、情報提供、啓発活動を行い、保護者が家庭教育について学ぶ機会の充実、子どもの基本的な生活習慣定着への理解を促すための情報提供、啓発活動を進める。	朝食を毎日「食べている」「どちらかといえば食べている」と回答した児童生徒の割合	小：93.0% 中：91.9% (H25年度)	目標 小：98% 中：97% 実績 小：92.5% 中：90.9% 達成率 小：94.4% 中：93.7%	小：99%	小：100%	小：100%	小：100% 中：100% (H30年度)	継続	9,473	5,529	その他	9,150	課長	0.10 人	順調	内容の充実、効果的・効率的な実施に向け、家庭・地域・学校パートナーシップ事業から一部予算を生涯学習活動促進事業へ移行し、講座を一体化し多様なニーズに対応できるように改善を図った。家庭教育学級は、働く保護者の増加や課題の移り変わりに対応し家庭の教育力向上に向けて実施方法の改善を検討する。	順調	内容の充実、効果的・効率的な事業実施のため、また多様なニーズに対応するために、事業を一体化する等の改善を図った。子育てサポーター及びリーダーのスキルアップに向けた取組みを他課との連携を図りながら検討する。
							達成率										係長	0.20 人				
I-1-(3)-③ 地域全体が教育を支える社会の実現	4	家庭・地域・学校パートナーシップ事業	生涯学習課	家庭教育学級や子育てサポーターなどの活動を通じて、保護者の不安を軽減するため、関係機関や関係部局と連携しながら、情報提供、啓発活動を行い、保護者が家庭教育について学ぶ機会の充実、子どもの基本的な生活習慣定着への理解を促すための情報提供、啓発活動を進める。	朝食を毎日「食べている」「どちらかといえば食べている」と回答した児童生徒の割合	小：93.0% 中：91.9% (H25年度)	目標 小：98% 中：97% 実績 小：92.5% 中：90.9% 達成率 小：94.4% 中：93.7%	小：99%	小：100%	小：100%	小：100% 中：100% (H30年度)	継続	9,473	5,529	その他	9,150	課長	0.10 人	順調	内容の充実、効果的・効率的な実施に向け、家庭・地域・学校パートナーシップ事業から一部予算を生涯学習活動促進事業へ移行し、講座を一体化し多様なニーズに対応できるように改善を図った。家庭教育学級は、働く保護者の増加や課題の移り変わりに対応し家庭の教育力向上に向けて実施方法の改善を検討する。	順調	内容の充実、効果的・効率的な事業実施のため、また多様なニーズに対応するために、事業を一体化する等の改善を図った。子育てサポーター及びリーダーのスキルアップに向けた取組みを他課との連携を図りながら検討する。
							達成率										係長	0.20 人				

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H29年度 予算額 （千円）	H30年度 予算額 （千円）	事業費の増減	人件費（目安）			H28年度 事業評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H28年度 局施策評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	
					指標名等	現状値 （基準値）	H28年度	H29年度	H30年度	中期 目標					金額 （千円）	職位	人数					
I-3- (1)-① 多様な学 習機会や 学習情報、学び の場の提供	5	生涯学習活動促進事業	生涯学習課	各市民センター等で、地域課題や現代的課題等の解決を目指す講座、心と体の健康づくりを目指す講座など幅広い分野にわたる講座を実施する。また、それぞれの地域の特色を生かし、家庭・地域・学校が連携して、子どもたちに様々な体験活動や世代間交流の機会を提供し、地域ぐるみで子どもを見守り育てる意識を高め、地域全体で子どもの健全育成に取り組む機運を醸成する。	生涯学習市民講座参加者数	93,589人 (H25年度)	目標 100,000人 実績 85,864人 達成率 85.9%	100,000人 (H30年度)	100,000人	100,000人	100,000人	100,000人	継続	15,463	17,125	その他	6,900	課長 0.10人 係長 0.20人 職員 0.50人	順調	地理的な理由から市民センターを利用しにくい住民へ学習機会を提供するため、サブセンターでも講座を実施するとともに、地域課題解決に向けた講座の充実を図るなど多様な学習機会を提供していく。また、子どもたちが地域の大人や異なる学年の子どもとふれあい交流しながら過ごせる場所の提供やプログラム等を実施する。地域デビュー支援事業については、同世代等の地域活動に取り組む人材を地域につなぎ、育成するための講座やワークショップ等を開催するものであり、市民センターにおいてこれらの講座が定着するようになったため、平成30年度より事業を廃止し、既存の生涯学習市民講座に組み込む形として実施する。	順調	地理的な理由から市民センターを利用しにくい住民へ学習機会を提供するため、サブセンターでも講座を実施する。地域課題解決に向けた講座の充実を図るなど多様な学習機会を提供していく。また、子どもたちが地域の大人や異なる学年の子どもとふれあい交流しながら過ごせる場所の提供やプログラム等を実施する。 生涯学習推進コーディネーターの全館配置に向け取り組むとともに、配置されたコーディネーターが充実した活動を行えるよう研修等を通じて活動しやすい環境を整える。
	6	生涯学習推進コーディネーター配置事業	生涯学習課	生涯学習の推進ならびに市民センター等の活性化を図るため、学習機会や人材等、地域に関する様々な情報の収集や提供を行う生涯学習コーディネーターを、全市民センターに配置する。	生涯学習推進コーディネーターの配置割合	56.2% (H25年度)	目標 65% 実績 51.1% 達成率 78.6%	70%	75%	75%	75%	75%	継続	10,705	8,890	減額	3,650	課長 0.10人 係長 0.10人 職員 0.20人	順調	生涯学習推進コーディネーターの配置の意義、効果に加え、人材の見つけ方などを社会教育主事等が助言しながら、全館配置に向け取り組むとともに、配置されたコーディネーターが定着し充実した活動を行うよう研修等を通じて活動しやすい環境を整える。		

市民文化スポーツ局

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善													
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H29年度 予算額 （千円）	H30年度 予算額 （千円）	事業費の増減	人件費（目安）			H28年度 事業評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H28年度 局施策評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）				
					指標名等	現状値 （基準値）	H28年度	H29年度	H30年度	中期 目標					金額 （千円）	職位	人数								
I-3-(2)-① 地域活動をリードする人材の育成	7	北九州市民カレッジ事業	管理運営課	市民の多様な学習ニーズに対応した生涯学習機会を提供し、学んだ方がその知識・経験を活かした地域活動を行う「循環型生涯学習社会」を推進していくための事業。 北九州市民カレッジの講座は、生涯学習総合センター主催コース（まちづくり・人材育成系、総合・教養系の2コース）と高等教育機関提携コースを前期・後期の2期で実施。	受講者数 (H28年度から八幡西生涯学習総合センター実施分も含む)	690人 (H25年度)	目標 1,380人	1,410人	1,440人	対前年度 30人増	継続	5,668	5,373	減額	21,850	課長	0.40人	順調	事業予算削減の中、講座内容のクオリティを確保しつつ、多様化する学習ニーズや課題を的確に把握するとともに、高等教育機関等との連携を更に進めていく。						
	受講者の満足度	90% (H25年度)	目標 95%	95%	95%	95% (毎年度)	係長	0.90人	職員	1.10人															
	生涯学習市民講座参加者数	93,589人 (H25年度)	目標 100,000人	100,000人	100,000人	100,000人 (H30年度)	課長	0.10人	係長	0.20人						職員	0.50人				順調	地理的な理由から市民センターを利用しにくい住民へ学習機会を提供するため、サブセンターでも講座を実施するとともに、地域課題解決に向けた講座の充実を図るなど多様な学習機会を提供していく。また、子どもたちが地域の大人や異なる学年の子どもとふれあい交流しながら過ごせる場所の提供やプログラム等を実施する。地域デビュー支援事業については、団塊世代等の地域活動に取り組む人材を地域につなぎ、育成するための講座やワークショップ等を開催するものであり、市民センターにおいてこれらの講座が定着するようになったため、平成30年度より事業を廃止し、既存の生涯学習市民講座に組み込む形として実施するもの。			
生涯学習活動に関する満足度	96.3% (H25年度)	目標 90%	90%	90%	90%以上 (H32年度)	課長	0.10人	係長	0.20人	職員	0.30人														
「地域活動をリードする人材やボランティア活動に参加する人材が増加していると感じる」に肯定的な回答をした割合	37.6% (H27年度)	目標 54%	54%	56%	60%以上 (H32年度)	課長	0.10人	係長	0.20人	職員	0.30人	—	1,000	1,000	維持	5,400	—	人材マッチング事業については、各区の市民センターにおいて、それぞれ地域の特性に応じた内容で実践する。また、地域活動をリードする人材育成事業については、引き続き、市民センター館長等研修の充実を図っていく。							
地域課題解決のための人材活用支援事業	生涯学習課	地域が主体的に地域課題を解決することができるよう、地域人材の発掘～育成～活用までを体系的に支援し、地域力アップにつなげる仕組みをつくる。学んだ成果を地域に活かす講座の開催、地域活動をリードする人材育成事業及びボランティア（アドバイザー）グループによる支援事業を実施する。																							

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H29年度 予算額 (千円)	H30年度 予算額 (千円)	事業費の増減	人件費（目安）			H28年度 事業評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H28年度 局施策評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）
					指標名等	現状値 (基準値)	H28年度	H29年度	H30年度	中期 目標					金額 (千円)	職位	人数				
I-3-(2)-② 地域を支えるボランティアの育成	10	NPO・市民活動促進事業	市民活動推進課	市民活動の促進に加え、NPOと行政の協働を推進するため、活動や協働等に関する相談・助言、情報提供、研修・啓発等を実施する。	新規設立NPO法人数（累計）	目標	75 法人	90 法人	105 法人	105法人 (H30年度)	継続	20,137	19,990	維持	21,450	課長	0.30 人	順調	市民活動の裾野を広げるため、市民に対し活動のきっかけづくりとなるセミナー、講演会等を引き続き開催するとともに、地域に支えられるNPOを育成するため、研修等の充実を図る。	順調	市民活動を促進する講座の実施や情報提供の充実を図っていく。
						実績	73 法人										達成率				
II-1-(1)-② 市民の消費生活の安定と向上	11	消費者啓発の推進	消費生活センター	悪質化・巧妙化する消費者被害を未然に防止するため、法律相談会や消費者啓発・教育講座等、消費者自身が危機回避や被害にあった場合に付けるための各種事業を実施するなど、啓発の推進や支援を行う。	消費生活センターの認知度	目標	90 %	90 %	90 %	90%以上 (毎年度)	継続	25,081	19,217	減額	8,075	課長	0.05 人	順調	これまで取り組んできた出前講座等による啓発活動に加え、高齢者を中心に被害が増加しているニセ電話詐欺の未然防止のため、市主催のイベントや事業等を活用し、集中的に注意喚起を行う。あわせて「地域のお世話役」として活躍できる賢い消費者の育成を図り、地域での見守りの輪を広げる。	順調	出前講座等による啓発活動に加え、高齢者を中心に被害が増加しているニセ電話詐欺の未然防止のため、集中的に注意喚起を行う。あわせて「地域のお世話役」として活躍できる賢い消費者の育成を図り、地域での見守りの輪を広げる。
						実績	92.9 %										達成率				
					消費生活センター等に相談又は相談を勧める市民の割合	目標	90 %	90 %	90 %	90%以上 (毎年度)					職員	0.60 人					
					実績	97 %					達成率	107.8 %									

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H29年度 予算額 （千円）	H30年度 予算額 （千円）	事業費の増減	人件費（目安）			H28年度 事業評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H28年度 局施策評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）
					指標名等	現状値 （基準値）	H28年度	H29年度	H30年度	中期 目標					金額 （千円）	職位	人数				
II-1-(3)-① 「北九州市安全・安心条例」の制定と安全・安心に関わる施策の推進	12	日本トップクラスの安全・安心なまちづくり関連事業	安全・安心推進課	警察、関係団体等と連携し、市民等の防犯意識の向上や自主防犯活動の活性化、安全・安心な環境の整備などに取り組み、日本トップクラスの安全・安心なまちづくりを推進する。	防犯パトロール活動への参加者数	14,170人 (H27年度)	14,000人 目標	16,000人	18,000人	20,000人以上 (H31年度)	継続	15,663	15,785	維持	15,900	課長	0.10人	順調	安全・安心に関する本市の現状を、市制55周年記念事業等、さまざまな機会を通じて発信することで、本市の体感治安や都市イメージの向上を図る。	局施策評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）
			実績	16,515人					係長	0.35人											
			達成率	118.0%					職員	1.50人											
	13	子どもと女性の犯罪被害防止対策事業	安全・安心推進課	子どもと女性の犯罪被害を防止するため、子ども自身や子どもを見守る保護者、女性を対象とした安全セミナー等を開催し、防犯意識や知識の向上を図る。	「安全セミナー」「地域安全マップづくり」延べ実施校	35校 (H25年度)	75校 目標	80校	105校	125校 (H31年度)	継続	1,900	3,453	増額	15,900	課長	0.10人	順調	引き続き、安全セミナー、地域安全マップづくり及び女性のための犯罪被害防止セミナーを開催することで、防犯知識の向上を図る。また、教員や保護者を対象に防犯講座を開催し、危機管理能力の向上に取り組む。	局施策評価	安全・安心に関する活動を継続するとともに、本市の都市イメージを向上させるための情報発信に努める。また、子どもと女性の防犯意識の向上や、教員や保護者の危機管理意識の向上に取組むとともに、市民が気軽に相談できる体制を整える。
		実績	77校					係長	0.35人												
		達成率	102.7%					職員	1.50人												
	14	安全・安心総合相談ダイヤル事業	安全・安心相談センター	市民生活の身近な安全・安心に関する相談を受け付ける「安全・安心を心総合相談ダイヤル」を円滑に運用し、市民の相談機会の充実と不安感解消を図る。	安全・安心総合相談ダイヤルの認知度	22% (H27年度)	25%以上 (28年度) 目標	前年度比増	前年度比増	前年度比増 (毎年度)	継続	21,640	21,172	維持	15,900	課長	0.10人	順調	市民が気軽に相談できる体制を整えることで、より効果的な運用を図る。	局施策評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）
		実績	24.1%					係長	0.35人												
		達成率	96.4%					職員	1.50人												

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H29年度 予算額 （千円）	H30年度 予算額 （千円）	事業費の増減	人件費（目安）			H28年度 事業評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H28年度 局施策評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	
					指標名等	現状値 （基準値）	H28年度	H29年度	H30年度	中期目標					金額 （千円）	職位	人数					
II-1-(3)-② 防犯活動の強化	15	地域防犯対策事業	安全・心推進課	北九州市安全・安心条例では、「市民等は安全・安心に関する意識を自ら高め、行動すること」「市及び市民等は相互に連携を深め、防犯活動を協力して推進すること」と定められている。この事業では、市民の防犯意識を高め、地域住民の自主防犯活動を促進し、安全・安心を実感できるまちの実現を図る。	街頭犯罪件数	目標	前年(3,706件)比減	前年比減	前年比減	前年比減	継続	35,380	30,150	減額	15,900	課長	0.10	人	順調	引き続き、地域防犯対策事業を推進し、市民・警察・関係団体等と連携して防犯意識の向上と自主防犯活動の一層の促進を図り、安全で安心なまちづくりを目指す。	順調	防犯灯や防犯カメラの整備により、安全で安心な都市環境を整備し、市民の安全・安心な暮らしを推進する。また、市民・警察・関係団体等と連携して防犯意識の向上と自主防犯活動の一層の促進を図り、安全で安心なまちづくりを目指す。
						実績	2,734										達成率					
16	防犯灯設置事業	安全・心都市整備課	夜間における犯罪の発生を未然に防止し、公衆の通行の安全を図るため地域と市が協力しながら、防犯灯を設置。防犯灯の設置にあたっては、LED防犯灯の設置促進を図り、町内会等の地域の防犯灯の設置のため費用の一部を助成し、明るく安心して生活できるまちづくりを推進。	刑法犯認知件数	目標	前年(9,682件)比減	前年比減	前年比減	8,000件(H31年)	継続	154,797	116,823	減額	3,435	課長	0.04	人	順調	防犯灯LED化を促進する方針を継続するも、実績に応じた予算に減額する。			
					実績	8,124										達成率						1.558
17	通学路防犯灯事業	安全・心都市整備課	通学路において、市によるLED防犯灯の設置を行い、通学路の夜間の安全確保に取り組む。	刑法犯認知件数	目標	前年(9,682件)比減	前年比減	前年比減	8,000件(H31年)	継続	21,940	15,900	減額	3,435	課長	0.04	人	順調	引き続き、通学路において増設が必要な防犯灯は市が整備する等、通学路の夜間照明の強化を図る。			
					実績	8,124										達成率						1.558
				市民が感じる治安状況（体感治安）	目標	前年(73.7%)比増	前年比増	前年比増	90% (H31年度)													
				市民が感じる治安状況（体感治安）	実績	77.9%																
				市民が感じる治安状況（体感治安）	目標	73% (H26年度)			90% (H31年度)													
				市民が感じる治安状況（体感治安）	実績	77.9%																
				市民が感じる治安状況（体感治安）	目標	73.7% (H27年度)			90% (H31年度)													
				市民が感じる治安状況（体感治安）	実績	77.9%																
				市民が感じる治安状況（体感治安）	目標	73.7% (H27年度)			90% (H31年度)													
				市民が感じる治安状況（体感治安）	実績	77.9%																
				市民が感じる治安状況（体感治安）	目標	73.7% (H27年度)			90% (H31年度)													
				市民が感じる治安状況（体感治安）	実績	77.9%																
				市民が感じる治安状況（体感治安）	目標	73.7% (H27年度)			90% (H31年度)													
				市民が感じる治安状況（体感治安）	実績	77.9%																

【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善											
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H29年度 予算額 (千円)	H30年度 予算額 (千円)	事業費の増減	人件費（目安）			H28年度 事業評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H28年度 局施策評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）
					指標名等	現状値 (基準値)	H28年度	H29年度	H30年度	中期 目標					金額 (千円)	職位	人数				
18	防犯カメラ事業		安全・安都整備課	暴力団犯罪をはじめ街頭犯罪を抑止し、市民生活等の安全・安心を確保するため、人が多く集まる繁華街や幹線道路に既に設置している防犯カメラの適正な維持管理、運用を行う。	繁華街における刑法犯認知件数	目標	前年(1,187件)比減	前年比減		前年比減 (毎年)	継続	45,711	46,111	維持	3,435	課長	0.04 人	順調	防犯カメラ運用開始からの経年劣化に対し、保守や機器交換を適切に行うことにより、安定した運用を行う。		
						実績	230件減														
						達成率	19%減														
					市民が感じる治安状況（体感治安）	目標	73 %	前年比増	前年比増	90% (H31年度)						係長	0.17 人				
						実績	77.9 %														
						達成率	106.7 %														
刑法犯認知件数	目標			前年比減	8,000件 (H31年)	職員	0.17 人														
	実績	11,267件 (H26年)																			
	達成率																				
19	防犯カメラ設置補助事業		安全・安都整備課	安全・安心条例の施行を機に、地域団体や事業者が犯罪抑止を目的として公共空間を撮影する防犯カメラを設置する際の経費の一部を補助することで、安全・安心な環境の構築に向けたさらなる取り組みを推進する。	刑法犯認知件数	目標	前年(9,682件)比減	前年比減	前年比減	8,000件 (H31年)	継続	22,750	13,800	減額	3,435	課長	0.04 人	順調	防犯カメラ設置補助制度を継続するも、申請実態（約4割減）を反映した予算に減額する。		
						実績	8,124 件														
						達成率	1,558 減														
					市民が感じる治安状況（体感治安）	目標	73 %	前年比増	前年比増	90% (H31年度)						係長	0.17 人				
						実績	77.9 %														
						達成率	106.7 %														
刑法犯認知件数	目標			前年比減	8,000件 (H31年)	職員	0.17 人														
	実績	11,267件 (H26年)																			
	達成率																				

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の方向性	H29年度 予算額 (千円)	H30年度 予算額 (千円)	事業費の増減	人件費（目安）			H28年度 事業評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H28年度 局施策評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）			
					指標名等	現状値 (基準値)	H28年度	H29年度	H30年度					中期目標	金額 (千円)	職位					人数		
II-1-(3)-③ 暴力団追放運動の推進	20	暴力追放の推進	安全・安心相談センター	社会全体で暴力団を排除するため、事業者・市民の暴排意識を高める。市民暴力追放総決起大会や暴力追放強化月間などによる集中的な啓発活動などを実施し、官民一体となって取り組む。	暴追対策に対して評価した市民の割合	48% (H25年度)	目標	72%以上	前年度比増	前年度比増	前年度比増 (毎年度)	継続	16,273	13,601	減額	12,850	課長	0.40	人	順調	警察・行政・市民とが連携・協力して、安全・安心なまちづくりを促進する環境を整えとともに、市民意識の高揚を図る。また、市民の不安感の払拭に向けて、引き続き暴排活動を行う。	順調	警察・行政・市民とが連携・協力して、安全・安心なまちづくりを促進する環境を整えとともに、市民意識の高揚を図る。また、市民が気軽に相談できる体制を整え、市民の不安感の払拭に向けて、引き続き暴排活動を行う。
						実績	73.6%										達成率	102.2%					
	21	民事介入暴力相談事業	安全・安心相談センター	市民生活への暴力団等の介入を排除し、安全・安心なまちづくりを図るため、民事介入暴力相談を実施。	暴追対策に対して評価した市民の割合	48% (H25年度)	目標	72%以上	前年度比増	前年度比増	前年度比増 (毎年度)	継続	27,238	21,968	減額	4,300	課長	0.20	人	順調	市民が気軽に相談できる体制を整えることで、より効果的な運用を図る。	順調	
						実績	73.6%										達成率	102.2%					
					企業における暴力団排除条項の規定割合	55.8% (H25年度)	目標	75%以上			前年比増 (H31年度)				職員	0.70	人						
					企業における暴力団排除条項の規定割合	55.8% (H25年度)	目標				前年比増 (H31年度)				職員	0.70	人						

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H29年度 予算額 （千円）	H30年度 予算額 （千円）	事業費の増減	人件費（目安）			H28年度 事業評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H28年度 局施策評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）			
					指標名等	現状値 （基準値）	H28年度	H29年度	H30年度	中期 目標					金額 （千円）	職位	人数							
II-1-(3)-④ 交通安全の推進	22	交通安全推進事業	安全・安心都市整備課	第9次北九州市交通安全重点計画に基づき、重点項目について啓発を実施。生涯にわたる交通安全教育及び効果的な広報啓発活動により、市民に広く交通安全思想を普及し、交通事故防止を図るもの。	交通事故の発生件数（警察統計のため暦年でカウント）	目標	前年 (8,075件) 比減	前年比減	前年比減	H32年までに 7,300件 以下	継続	7,802	4,662	その他	9,800	課長	0.20	順調	交通安全教育や広報啓発などを実施し、交通事故防止を図る。 青少年の交通安全推進に係る費用は「青少年交通安全推進事業」へ統合。	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）				
						実績	7,729	件									係長				0.30	人		
						達成率	346	件減															職員	0.60
					目標	前年 (23人) 比減	前年比減	前年比減	H32年までに 19人以下	継続						27,573	27,573				維持	3,650		
	実績	16	人			係長	0.10	人																
	達成率	-7	人								職員	0.20	人											
	23	交通安全センター管理運営	安全・安心都市整備課	北九州市立交通安全センターを管理するとともに、交通安全教室等を開催し、自転車の安全運転や、交通ルール・マナーの徹底を図る。	交通事故の発生件数（警察統計のため暦年でカウント）	目標	前年 (8,075件) 比減	前年比減	前年比減					H32年までに 7,300件 以下	継続			27,573		27,573			維持	3,650
						実績	7,729	件			係長	0.10	人											
						達成率	346	件減								職員	0.20				人			
					目標	前年 (850件) 比減	前年比減	前年比減	前年比減 (毎年)	継続	2,000	6,500	その他	5,400								課長		
	実績	777	件			係長	0.20	人																
	達成率	73	件減												職員	0.30	人							
24	青少年交通安全推進事業	安全・安心都市整備課	青少年の交通事故防止のため、新小学一年生へ黄色い帽子の配布や、中学生を対象とした自転車交通ルール検定などを実施し、交通安全の推進を図る。	自転車関連事故の発生件数（警察統計のため暦年でカウント）	目標	前年 (850件) 比減	前年比減	前年比減	前年比減 (毎年)									継続	2,000	6,500	その他	5,400	課長	0.10
					実績	777	件				係長	0.20	人											
					達成率	73	件減							職員	0.30	人								
				25	<新>運転免許証自主返納支援事業	安全・安心都市整備課	高齢運転者が加害者となる交通事故の防止を図るため、高齢者運転シミュレーター体験教室や、運転免許証自主返納支援パンフレットを作成する。	交通事故の発生件数（警察統計のため暦年でカウント）	目標	前年 (850件) 比減	前年比減	前年比減	前年比減 (毎年)				—						—	5,500
実績	7,729	件								係長	0.20	人												
達成率														職員	0.30	人								

【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善											
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H29年度 予算額 （千円）	H30年度 予算額 （千円）	事業費の増減	人件費（目安）			H28年度 事業評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H28年度 局施策評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）
					指標名等	現状値 （基準値）	H28年度	H29年度	H30年度	中期目標					金額 （千円）	職位	人数				
II-1-(3)-⑤ 非行や犯罪を生まない地域づくり	26	地域防犯対策事業	安全・安心推進課	北九州市安全・安心条例では、「市民等は安全・安心に関する意識を自ら高め、行動すること」「市及び市民等は相互に連携を深め、防犯活動を協力して推進すること」と定められている。この事業では、市民の防犯意識を高め、地域住民の自主防犯活動を促進し、安全・安心を実感できるまちの実現を図る。	街頭犯罪件数	5,212件 (H25年)	目標 前年 (3,706件) 比減 実績 2,734件 達成率 972件減	前年比減	前年比減	前年比減	前年比減	継続	35,380	30,150	減額	15,900	課長 0.10人 係長 0.35人 職員 1.50人	順調	引き続き、地域防犯対策事業を推進し、市民・警察・関係団体等と連携して防犯意識の向上と自主防犯活動の一層の促進を図り、安全で安心なまちづくりを目指す。	順調	市民・警察・関係団体等と連携して防犯意識の向上と自主防犯活動の一層の促進を図り、安全で安心なまちづくりを目指す。
II-3-(4)-① 平和の尊さへの理解の促進	27	戦時資料展示コーナー管理運営事業	地域振興課	市民からご寄贈いただいた戦時下の資料を保管・展示することにより、北九州市立埋蔵文化財センター内に開設した戦時資料展示コーナーにおいて、戦争がもたらした惨禍と平和の尊さを多くの市民に理解していただく。	戦時資料展示コーナー見学者数	3,647人 (H22年度)	目標 4,000人 実績 5,274人 達成率 131.9%	前年度比増	前年度比増	前年度比増	4,000人 (毎年度)	継続	1,453	1,329	減額	1,220	課長 0.03人 係長 0.05人 職員 0.05人	大変順調	多くの方に来館していただくため、チラシの配布拠点を増やすなど、広報の強化に努める。	大変順調	戦争がもたらした惨禍と平和の尊さを、多くの市民に理解していただくため、広報活動を通じて、戦時資料展示コーナーの周知に一層力を入れていく。広報活動により、入場者数の増加に繋げる。
III-1-(1)-④ 市民のモラル・マナーの向上	28	モラル・マナーアップ関連条例推進事業	安全・安心都市整備課	条例や基本計画に基づき下記事業に取り組む。 ・小倉・黒崎地区（迷惑行為防止重点地区）での巡視活動（過料の適用） ・地域が実施する迷惑行為防止活動に対する支援 ・小学生を対象としたモラル・マナーアップ教育 ・モラル・マナーアップに関する広報啓発	迷惑行為防止に係る地域活動団体の増加	82団体 (H26年度)	目標 前年度(87団体) 比増 実績 92団体 達成率 5団体増	前年度比増	前年度比増	前年度比増	前年度比増 (毎年度)	継続	29,492	24,022	減額	6,150	課長 0.10人 係長 0.20人 職員 0.40人	順調	引き続き、条例や基本計画に基づいた事業に取り組んでいく。	順調	市民等のモラル・マナーの向上を図るため、引き続き啓発活動や、巡視活動に取り組む。
				路上喫煙率（歩行者に占める喫煙者の割合）	小倉 0.17% 黒崎 0.24% (H26年度)	目標 前年度(小倉0.10%、黒崎0.20%) 以下 実績 小倉 0.16% 黒崎 0.36% 達成率 小倉 0.06%増 黒崎 0.16%	前年度以下	前年度以下	前年度以下	前年度以下 (毎年度)											

市民文化スポーツ局

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H29年度 予算額 (千円)	H30年度 予算額 (千円)	事業費の増減	人件費（目安）			H28年度 事業 評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H28年度 局施策 評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）		
					指標名等	現状値 (基準値)	H28年度	H29年度	H30年度	中期 目標					金額 (千円)	職位	人数						
Ⅲ-2-(1)-② 地域における伝統文化の発掘・継承	29	小倉祇園太鼓調査事業	文化企画課	平成28年3月2日、小倉祇園太鼓が国の「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択されたことに伴い、その文化財としての価値を明らかにするべく、平成28年度から「小倉祇園太鼓調査委員会」を設置し、平成30年度まで調査を実施する。	調査報告書の刊行	—	目標 —	実績 —	達成率 —	編纂執筆 —	刊行 —	—	10,520	10,000	維持	11,050	課長 0.20 人	—	係長 0.50 人	職員 0.50 人	「小倉祇園太鼓調査委員会」を開催し、多方面から詳細な調査を実施するほか、調査報告書を刊行し、調査結果報告会を行うことで、市民への還元を図る。	順調	伝統文化の発掘や継承のため、文化財的価値の調査や文化財の維持管理に資する補助制度の運用を行う。
	30	文化財保存補助	文化企画課	伝統文化の継承者や保存団体の活動を育成・支援し、市内の伝統文化を発掘し、次世代に継承していく。	指定無形民俗文化財保存支援団体数	16団体 (H26年度)	目標 16 団体	実績 16 団体	達成率 100.0 %	16 団体	17 団体	17団体 (H30年度以降 毎年度)	継続	1,052	1,072	維持	11,050	課長 0.20 人	順調	係長 0.50 人	職員 0.50 人	一部の無形文化財について、新たに補助申請の意向があったため、補助団体及び金額の増を行う。	

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善													
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管理課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の方向性	H29年度 予算額 （千円）	H30年度 予算額 （千円）	事業費の増減	人件費（目安）			H28年度 事業 評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H28年度 局施策 評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）					
					指標名等	現状値 （基準値）	H28年度	H29年度	H30年度					中期 目標	金額 （千円）	職位					人数				
Ⅲ-2-(2)-① 発信力の高い文化芸術の振興	31	芸術文化活性化事業	文化企画課	<p>【劇場・自主事業】エンターテインメントから芸術性の高い作品まで舞台芸術全般を網羅し、幅広い年代層をターゲットに公演を行う。また、北九州芸術劇場オリジナルの演劇作品等を制作し、公演を実施。</p> <p>【響ホール・自主事業】室内楽専用ホールの特性を生かした質の高いコンサートや響ホールを拠点として地元演奏家を積極的に育てるコンサートを行う。また、響ホールからの発信を意識した、オリジナル리티のある演奏会を実施。</p>	北九州芸術劇場・自主事業入場率	目標 80 %	実績 85 %	達成率 106.3 %	95% (H21年度)	80% (H30年度)	継続	134,851	119,874	減額	3,550	課長 0.05 人	順調	北九州芸術劇場や響ホールが持つ特性を活かし、多彩で良質な音楽・舞台芸術等を提供していく必要がある。そのため、事業の効率化を念頭に置きながら、効果的な事業実施に努めていく。	局施策評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）					
	響ホール事業・響ホール自主事業入場率	目標 65 %	実績 60.7 %	達成率 93.4 %	56% (H21年度)	65% (H30年度)	係長 0.17 人	職員 0.17 人																	
	32	北九州国際音楽祭	文化企画課	地域の音楽文化の向上を図ることを目的に、クラシックコンサートを中心とした音楽祭に助成を行うもの。本音楽祭は、市制25周年を記念して始まり、30年度で31回を数え、本市の秋を彩る催し物として定着している。	北九州市国際音楽祭の満足度の割合	目標 85 %	実績 100 %	達成率 117.6 %	83% (H21年度)	85% (H30年度)	継続	50,000	40,000	その他	1,625	課長 0.05 人	順調	平成29年度は、30回目の開催のため、予算を増額し、記念の年に相応しい多様なラインナップを実施したところである。 引き続き、企画内容等を充実させ、より質の高い音楽を提供し、集客の増加及び満足度の向上を目指す。	局施策評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）					
										係長 0.06 人						職員 0.06 人									
	33	映像製作誘致強化関連事業	文化企画課	映画・テレビドラマ等のロケ地誘致や撮影支援を積極的に行い、本市の知名度と都市イメージの向上を図る。また、活動成果の市民との共有や、「映画の街・北九州」という新たな都市ブランドの発信により、街のにぎわいの創出や市民交流等のまちづくりにつなげる。	地域経済への貢献（直接経済効果）	目標 110,000 千円	実績 408,148 千円	達成率 371.0 %	100,000 千円 (H21年度)	500,000 千円 (H30年度以降 毎年度)	拡大	56,388	49,388	減額	36,100	課長 0.40 人	大変順調	「映画の街・北九州」ブランドを国内外に発信するために、タイや韓国、中国をターゲットとして海外の映画・テレビドラマの誘致に取り組んできたが、ターゲットを台湾やシンガポールにも拡大する。	局施策評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）					
	34	松永文庫企画事業	文化企画課	映画・芸能資料館「松永文庫」における企画展示・イベント等の積極的な開催を通じて、映画文化の振興、「映画の街・北九州」の情報発信に取り組む。	年間来館者数	目標 10万人 人	実績 9万人 人	達成率 90.0 %	89,317人 (H26年度)	10万人 /年	拡大	9,000	9,600	増額	4,150	課長 0.10 人	順調	平成28年5月の日本批評家大賞特別賞を受賞したこと等により、全国的に注目を集めていることから、「映画の街・北九州」を国内外に強力に発信するために、企画展示を拡充する。	局施策評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）					

市民文化スポーツ局

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H29年度 予算額 （千円）	H30年度 予算額 （千円）	事業費の増減	人件費（目安）			H28年度 事業評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H28年度 局施策評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）
					指標名等	現状値 （基準値）	H28年度	H29年度	H30年度	中期 目標					金額 （千円）	職位	人数				
Ⅲ-2-(2)-② 市民の文化芸術活動の促進	35	芸術文化育成負担金・補助金	文化企画課	本市の文化水準の向上及び地域文化の振興を推進することを目的として、積極的に文化活動を展開している文化団体等の事業に対して、助成を行う。	各種文化事業の実施	16事業 (H23年度)	目標 16 事業	15 事業	16 事業	16事業 (H30年度)	継続	36,350	41,350	増額	5,825	課長 0.05 人	順調	引き続き、本市の文化水準の向上や市民の文化活動の活性化を目指し、積極的に文化活動を展開している団体等の事業を助成していく。	順調	本市の文化水準の向上や市民の文化活動の活性化を目指し、積極的に文化活動を展開している団体等の事業や市民の自主的な活動に対し、支援を行っていく。 また、文化芸術振興のための寄附を募り、財源の確保を図る。	
	36	北九州市文化振興基金	文化企画課	北九州市の文化水準の向上と地域文化の振興に資することを目的として設置された北九州市文化振興基金運用果実により、市民の行う芸術・文化活動等に対し助成を行う。	北九州市文化振興基金奨励事業の補助件数	27件 (H21年度)	目標 25 件	25 件	25 件	25件 (毎年度)	継続	11,190	10,559	減額	3,825	課長 0.05 人					順調
Ⅲ-2-(2)-③ 市民が文化芸術に接する機会の拡大	37	美術館企画展充実事業	美術館普及課	美術館本館及び分館において、多彩で魅力ある企画展を開催し、本市の美術・文化の振興を積極的に推進する。	美術館の入館者数	245,420人 (H26年度)	目標 113,000 人	220,000 人	230,000 人	230,000人 (H30年度)	継続	126,811	144,123	増額	36,750	課長 0.25 人	順調	本館の改修工事が終了したため、本館での企画展、コレクション展、共催展等を本格的に実施する。	順調	改修工事が終了した美術館は、本館での企画展等を本格的に実施する。 博物館は、開館から15年で入館者数が累計600万人を超え、より魅力的な特別展・企画展の実施、より効果的な広報PRの展開等、ソフト事業を充実させることで更なる集客を図る。	
				コレクション展の観覧者数	11,713人 (H26年度)	目標 —	20,000 人	25,000 人	25,000人 (H30年度)						係長 0.65 人						
							目標 420,000 人	420,000 人	450,000 人	450,000人 (H30年度以降毎年度)	継続	55,600	49,922	減額	74,600	係長 1.80 人	大変順調	平成29年度は開館15周年記念として様々なイベントを実施し、H29年7月には累計入館者600万人を達成した。 この勢いを維持発展させるため、より魅力的な特別展・企画展の実施、より効果的な広報PRの展開等、ソフト事業を充実させることで更なる集客を図る。			
38	博物館企画展・特別展充実事業	自然史・歴史博物館普及課	企画展・特別展は、特定のテーマを設けて自然史や歴史に関する展示を行うことにより、市民が楽しく学べる場を提供し、本市の学術文化の発展を図るもの。 ＜平成30年度特別展＞ ・春の特別展「(仮) Bones～骨、ほね、ホネ～」 ・夏の特別展「(仮) ストレンジアニマルズ」 ・秋の特別展「(仮) 食のふしぎ」 ・春の特別展「(仮) 獣は毛もの」	博物館総入館者数	369,711人 (H24年度)	目標 508,000 人					継続				職員 5.40 人						

市民文化スポーツ局

【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善													
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の方向性	H29年度 予算額 （千円）	H30年度 予算額 （千円）	事業費の増減	人件費（目安）			H28年度 事業評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H28年度 局施策評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）			
					指標名等	現状値 （基準値）	H28年度	H29年度	H30年度					中期 目標	金額 （千円）	職位					人数		
Ⅲ-2-(2)-④ 文化芸術の担い手の育成	39	美術鑑賞事業「ミュージアム・ツアー」	美術館普及課	市内の小学3年生を対象に、美術作品の鑑賞体験型のプログラムを作成し、子どもたちに体験してもらうことでシビックプライドの醸成をはかる。	参加校の割合	目標	—	15 %	100 %	100% (H30年度)	—	6,000	35,000	増額	25,650	課長	0.10 人	—	平成29年度は八幡東区、戸畑区のみ実施。平成30年度は、市内の小学3年生全員を対象にミュージアム・ツアーを実施する。	順調	引き続き様々な芸術に触れる・体験する機会を提供する事業を実施し、次世代の文化・芸術の担い手を育成し、活動の活性化を図る。平成29年度に試行開始した「ミュージアムツアー」については、平成30年度から市内の全小学3年生を対象に実施する。		
						実績											係長					0.20 人	C C A 北九州については、経費削減しながら、事業内容を見直し、地域との連携、C C A 北九州の浸透に努める。
						達成率											職員					3.00 人	
40	優れた文化・芸術との“出会い”創造事業	文化企画課	将来の文化・芸術の担い手を育成し、本市の文化振興をさらに進めるとともに、シビックプライドの醸成につなげていくため、若者や子どもたちを中心に優れた文化・芸術との“出会い”の場・機会を創造していく。	教育普及事業への参加者数の増加	目標	2,500 人	3,000 人	3,000 人	3,000 人 (H30年度)	継続	18,000	10,000	減額	8,725	課長	0.15 人	大変順調	次世代の文化の担い手育成や文化活動の活性化のため、若者や子どもたちを中心に、優れた文化・芸術活動に触れる機会を提供していく。					
					実績	4,024 人									係長	0.40 人							
					達成率	161.0 %									職員	0.40 人							
41	現代美術センター・C C A 北九州支援事業	文化企画課	C C A 北九州は、現代美術の世界的な拠点のひとつとなることを目指して活動している研究・学習機関。国内外から集まる現代美術の若手アーティスト等の指導育成、招聘アーティストによる新作発表のための展覧会、国内外の第一線で活躍する学芸員による「キュレーターミーティング」を開催するとともに、C C A 北九州のネットワークを活かして、その活動を広く市民に浸透させるための文化講座、子ども向けワークショップなどの事業を行っている。これら事業を実施しているC C A 北九州を支援するもの。	フェロシッププログラムの受講者数	目標	6 人	6 人	5 人	5 人 (H32年度)	継続	45,000	40,000	減額	8,150	課長	0.10 人	順調	フェロシップ・プログラムについては、引き続き、学研都市という周辺環境を活かし、受入れ分野の多様化や他機関との協力により、充実したプログラムを実施する。また、事業内容の見直しや経費削減等を進めつつ、地域との連携を見据え、参加者の拡大とC C A の浸透に努める。					
					実績	5 人									係長	0.70 人							
					達成率	83.3 %									職員	0.00 人							
				C C A 北九州事業参加者人数	目標	2,200 人	2,200 人	1,800 人	1,800 人 (H32年度)						12,502	10,942				減額	9,300	課長	0.20 人
					実績	1,692 人																係長	0.40 人
					達成率	76.9 %																職員	0.40 人
42	子どもノンフィクション文学賞	文学館	「ノンフィクション」というジャンルの作品を書くことで、子どもたちが人間や社会への関心をもつ契機となり、思考能力や人間としての成長を促すことを目的に、平成21年度に全国の小中学生を対象に創設した。	応募総数	目標	1,000 件	1,000 件	1,000 件	1,000 件 (H30年度)	継続	12,502	10,942	減額	9,300	課長	0.20 人	大変順調	応募地域が広がり、全国規模の賞としてふさわしい応募数、内容となることを目指す。また、市内小中学校にも直接働きかけ、市内からの応募数獲得に努める。					
					実績	1,202 件									係長	0.40 人							
					達成率	120.2 %									職員	0.40 人							

市民文化スポーツ局

【Plan】 計画 / 【Do】 実施													【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の方向性	H29年度 予算額 （千円）	H30年度 予算額 （千円）	事業費の増減	人件費（目安）			H28年度 事業評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H28年度 局施策評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）		
					指標名等	現状値 （基準値）	H28年度	H29年度	H30年度					中期目標	金額 （千円）	職位					人数	
43	林芙美子文学賞	文学館	文学館	「放浪記」、「浮雲」などの作品で知られ、特に短編の名手として評価の高い林芙美子の名を冠する文学賞。多くの文学者、作家を輩出した北九州市の豊かな文化的土壌を全国に発信するとともに、北九州市文化振興計画の重要な柱である「人材育成」に寄与することを目的とする。	「林芙美子文学賞」作品応募数	1,602件 (H26年度)	目標	1,000 件	700 件	500 件	500件 (H30年度)	継続	16,000	12,277	減額	5,825	課長	0.05 人	順調	多くの文学者を輩出した北九州市の豊かな文化的土壌を全国に発信する。作家として書き続けていくことのできる才能の発掘というコンセプトのもと、芥川賞などの選考対象として取り上げられやすく、書籍化もしやすいように応募枚数を増加させた。その結果、力量を持った書き手に絞り込まれ、より文学賞らしい形で落ち着きつつある。今後は、受賞者が文学界で活躍する足がかりとなるような受賞後のフォローの充実に努める。		
							実績	628 件										係長				
							達成率	62.8 %								職員	0.30 人					
44	「合唱の街づくり」推進事業	文化企画課	文化企画課	市民の歌声があふれる「合唱の街・北九州」の実現に向けて、子どもたちからシニア世代まで幅広い年代の多くの市民が、合唱する側や聴いて楽しむ側として参加するまちづくりを進めていく。	合唱関連事業における歌い手としての参加者	682人 (H27年度)	目標	1,000 人	1,200 人	900 人	900人 (H30年度)	縮小	12,000	7,000	減額	7,150	課長	0.10 人	大変順調	楽器を必要としない「合唱」は、誰もが参加しやすく、世代間交流の促進やシニア層の健康づくり等の効果が期待される。平成30年度において、指標である「歌い手としての参加者」数は減少するものの、合唱の社会包摂機能を活用した認知症カフェ等での合唱会や、中国・大連市との市民交流コンサート等、新たな事業にも取り組みながら、「合唱の街・北九州」の実現を図っていく。		
							実績	1,304 人										係長				
							達成率	130.4 %								職員	0.40 人					

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	H29年度 予算額 （千円）	H30年度 予算額 （千円）	事業費 の増減	人件費（目安）			H28年度 事業 評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H28年度 局施策 評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	
					指標名等	現状値 （基準値）	H28年度	H29年度	H30年度					中期 目標	金額 （千円）	職位					人数
Ⅲ-2-(2)-⑤ 文化芸術 によるまちづくり	45	創造都市推進事業	文化企画課	国内外へ「文化創造都市」としての本市の都市ブランドを発信するため、「北九州市アーティレクター会議」を開催するとともに「東アジア文化都市」の開催地誘致等に取り組む。	2020年東京大会に向けた文化プログラムの認証件数	—	目標 20 件	実績 40件 (H31年度)	—	—	5,300	—	18,000	課長 0.50 人 係長 0.70 人 職員 0.70 人	—	「北九州市文化振興計画（改訂版）」の中間年である平成30年は市制55周年の年であり、これを機に、文化芸術の力を活用した「創造都市」としてさらなる発展を目指していく。	順調	漫画、映画、文学を活用した事業を実施するとともに、文化関連施設の多言語化を行い、文化芸術によるまちづくり、にぎわいづくりに寄与する。 アジアを中心とする海外作品の誘致に積極的取り組みとともに、全国的に注目されている松永文庫の企画展等の充実を図り、「映画の街・北九州」という都市ブランドを国内外に広く発信していく。 「文学の街・北九州」を発信するため、地元商店街や大学生と協力して、「北九州文学サロン」を拠点とした取り組みを進めていく。			
	46	北九州市漫画ミュージアム普及事業	漫画ミュージアム事務局	北九州市漫画ミュージアムにおいて、常設展示の充実・企画展・イベント等の開催を通じて漫画文化の普及を目指す。	漫画ミュージアム年間入場者数	83,161人 (H27年度)	目標 100,000 人	実績 100,766 人	100,000 人	100,000 人	100,000 人	10万人／年	継続	74,050	76,050	維持	44,000	課長 1.00 人 係長 1.00 人 職員 3.00 人	順調	さらなる漫画文化の普及及び海外との連携強化を図るため「北九州国際漫画大賞」のPRの強化を行う。また「日中韓新人MANGA選手権」がH30年度に北九州市で開催されるため、その準備を行う。	開館20周年にあたる松本清張記念館では、企画展や記念講演会など記念事業を実施し、松本清張や記念館の魅力を発信していく。 平成30年度の子ども図書館開館に合わせて、児童文学を顕彰する場の整備を行う。
	47	映像製作誘致強化関連事業	文化企画課	映画・テレビドラマ等のロケ地誘致や撮影支援を積極的に行い、本市の知名度と都市イメージの向上を図る。また、活動成果の市民との共有や、「映画の街・北九州」という新たな都市ブランドの発信により、街のにぎわいの創出や市民交流等のまちづくりにつなげる。	地域経済への貢献（直接経済効果）	100,000千円 (H21年度)	目標 110,000 千円	実績 408,148 千円	110,000 千円	500,000 千円	500,000 千円 (H30年度以降毎年度)	拡大	56,388	49,388	減額	36,100	課長 0.40 人 係長 1.80 人 職員 1.80 人	大変 順調	「映画の街・北九州」ブランドを国内外に発信するために、タイや韓国、中国をターゲットとして海外の映画・テレビドラマの誘致に取り組んできたが、ターゲットを台湾やシンガポールにも拡大する。		
	48	北九州文学サロン管理運営事業	文化企画課	女性俳句の草分けである杉田久女・橋本多佳子などのPR・顕彰に取り組むとともに、「北九州文学サロン」を拠点として、点在する文学的素材やさまざまな文化資源・文化的取組みをつなげる仕組みづくりを行う。	「北九州文学サロン」の来館者数	—	目標 施設開館 12,000 人	実績 施設開館 13,000 人	12,000 人	13,000 人	39,000人 (H29～31年度)	継続	12,000	11,000	減額	6,400	課長 0.10 人 係長 0.30 人 職員 0.30 人	順調	平成28年度に開館した拠点施設「北九州文学サロン」の利用促進や「文学の街・北九州」のPRを行うため、気軽に文学に触れることのできるイベントの実施や、各取り組みにおける商店街や学生、文化団体などとの官民連携を強化する。		
	49	松永文庫企画事業	文化企画課	映画・芸能資料館「松永文庫」における企画展示・イベント等の積極的な開催を通じて、「映画文化の振興」「映画の街・北九州」の情報発信に取り組む。	年間来館者数	89,317人 (H26年度)	目標 10万人 人	実績 9万人 人	9万人 人	10万人 人	10万人／年	拡大	9,000	9,600	増額	4,150	課長 0.10 人 係長 0.30 人 職員 0.00 人	順調	平成28年5月の日本批評家大賞特別賞を受賞したこと等により、全国的に注目を集めていることから、「映画の街・北九州」を国内外に強力に発信するために、企画展示を拡充する。		

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の方向性	H29年度 予算額 (千円)	H30年度 予算額 (千円)	事業費の増減	人件費（目安）			H28年度 事業評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H28年度 局施策評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）
					指標名等	現状値 (基準値)	H28年度	H29年度	H30年度					中期目標	金額 (千円)	職位				
50	松本清張記念館研究センター・普及事業	松本清張記念館事務局	松本清張に関するあらゆる資料を収集・整理し、松本清張の「人と作品」を研究する調査研究・資料収集事業の実施や研究誌を発行する。また、松本清張研究者に奨励金を贈呈する研究奨励事業を実施する。さらに、企画展の開催や講演会、読書感想文コンクールなどの市民文芸活動支援事業を行う。	松本清張記念館の入館者数	58,187人 (H22年度)	目標 前年度(46,278人)比増	実績 48,404人	前年度比増	前年度比増	前年度比増 (毎年度)	継続	14,918	27,841	増額	23,250	課長	0.50人	順調	開館20周年の節目の年にあたり、多くの方に松本清張や記念館の魅力を伝え、入館者の増加を図るため、魅力ある企画展や記念講演会などを開催する。	
					達成率	104.6%										係長	1.00人			
					目標	90%	90%	90%	90%以上 (毎年度)							職員	1.00人			
51	児童文学の顕彰事業	文化企画課	本市ゆかりの児童文学を顕彰することを目的に、資料や情報資源を集約した場を設けて継続した調査・研究・普及していく拠点とする。	顕彰することを目的とした場の整備	-	目標 計画策定	実績 計画策定	図面作成	施設完成	完成 (H30年度)	継続	19,600	51,000	増額	6,400	課長	0.10人	順調	平成28年度は本市ゆかりの児童文学について、その顕彰の具体的な方法の調査・研究を行い、平成29年度は前年度の成果を反映した展示計画・図面の作成を行った。平成30年度は、子どもたちにかわりやすく伝える顕彰の場を整備する。	
					達成率	-										係長	0.30人			
					目標											職員	0.30人			
52	<新>文化関連施設多言語化推進事業	文化企画課	2020年の東京オリンピック・パラリンピックを見据え、インバウンド（訪日外国人）対応の強化が必須となっており、市内の文化関連施設の多言語化を一体として行う。	外国人来館者数の増加率 (対28年度比)	約9千人 (H28年度)	目標	実績	10%増	30%増 (H32年度)	30%増 (H32年度)	-	-	6,000	-	6,400	課長	0.10人	-	2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、増加が見込まれるインバウンド（訪日外国人）対応の強化が必須となっており、市内の文化関連施設の多言語化に取り組むもの。	
					達成率											係長	0.30人			
					目標											職員	0.30人			

【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善										
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の方向性	H29年度 予算額 （千円）	H30年度 予算額 （千円）	事業費の増減	人件費（目安）			H28年度 事業評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H28年度 局施策評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）
					指標名等	現状値 （基準値）	H28年度	H29年度	H30年度					中期 目標	金額 （千円）	職位				
Ⅲ-2- (3)-① 誰もが気軽にスポーツに親しめる環境づくり	53	市民体育祭	スポーツ振興課	「市民皆スポーツ」をモットーに、スポーツ・レクリエーションの普及振興を図り、市民の健康で明るい市民生活に寄与するため、市内全域で各種大会や行事を開催。	市民体育祭選手参加者数	30,367人 (H26年度)	目標 30,000人 実績 27,974人 達成率 93.2%	30,000人	28,000人 (H30年度以降毎年)	継続	8,500	7,400	減額	4,650	課長 0.10人 係長 0.20人 職員 0.20人	順調	市民スポーツ参加機会の拡充を図るため、市民体育祭等の大会を開催する。			
	54	生涯スポーツ振興事業	スポーツ振興課	市民への生涯スポーツ振興・普及のため、各区におけるニュースポーツ及びファミリースポーツ大会の参加人数	各区におけるニュースポーツ及びファミリースポーツ大会の参加人数	12,371人 (H26年度)	目標 12,600人 実績 17,280人 達成率 137.1%	12,600人	42,480人 (H28～30年度)	継続	20,279	19,612	維持	990	課長 0.01人 係長 0.05人 職員 0.05人	大変順調	教室・大会開催数の維持及び周知・PRの強化や開催方法の工夫により参加者の増加を図る。			
	55	総合型地域スポーツクラブ育成・支援事業	スポーツ振興課	総合型地域スポーツクラブは、人々が身近な地域でスポーツに親しむことのできるスポーツクラブである。多世代、多趣味、多志向を特徴とし地域住民等により自主・主体的に運営される総合型地域スポーツクラブは、これからの地域スポーツの中核をなすものであり、その役割は大きいことから総合型地域スポーツクラブの育成・支援に取り組む。	総合型地域スポーツクラブの会員数	1,800人 (H22年度)	目標 2,900人 実績 2,318人 達成率 79.9%	3,000人	H32年度までに4,000人	継続	3,779	3,459	減額	2,325	課長 0.05人 係長 0.10人 職員 0.10人	順調	指導者育成を目的とした勉強会や、クラブ間交流会を継続的に実施し、総合型地域スポーツクラブの質の向上を図る。			
	56	夢・スポーツ振興事業	スポーツ振興課	2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を踏まえ、国際・全国大会で活躍する選手を育成するため選手個々の能力を高める事業を実施。	教室・強化講習会等の実施	—	目標 5種目以上 実績 8種目 達成率 160.0%	5種目以上	毎年度5種目以上 (H31年度まで)	継続	8,000	8,000	維持	6,305	課長 0.02人 係長 0.24人 職員 0.49人	大変順調	事業の種目数の維持を通じて、参加者の能力の向上を図り、国際大会等の大規模大会において、活躍できる選手の輩出に取り組む。	順調	引き続き『誰もが気軽にスポーツに親しめる環境づくり』を推進するため、既存事業（市民体育祭、生涯スポーツ振興事業等）への参加者数の更なる増加を目指すとともに、地域スポーツ振興の中核をなす総合型地域スポーツクラブの育成・支援を継続する。 また、北九州マラソンの継続開催により、市民のスポーツ・健康に対する意識の更なる向上を目指すとともに、本市の魅力の全国発信を図る。	
	57	北九州マラソン開催事業	スポーツ振興課	・主催：北九州市、（一財）福岡陸上競技協会 ・主管：北九州マラソン実行委員会 ・後援：国土交通省九州地方整備局北九州国道事務所ほか24団体 ・コース：北九州市役所前～東田地区～戸畑駅前～東港～門司港～北九州国際会議場前 ・種目及び参加人数 マラソン：11,000名、ベアリレーマラソン：150組300名、ファンラン（3km又は5km）：1,000名 ・大会当日および前日に関連イベントを開催	マラソン大会開催による経済波及効果	10.5億円 (H25年度)	目標 11.5億円 実績 — 達成率 —	11.5億円	11.5億円 (H30年度)	継続	104,458	89,663	減額	69,750	課長 1.50人 係長 3.00人 職員 3.00人	順調	スポーツによるまちのにぎわいづくりやスポーツの振興を図るため、市の一大イベントである北九州マラソンを着実に実施する。			

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H29年度 予算額 （千円）	H30年度 予算額 （千円）	事業費の増減	人件費（目安）			H28年度 事業評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H28年度 局施策評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	
					指標名等	現状値 （基準値）	H28年度	H29年度	H30年度	中期 目標					金額 （千円）	職位	人数					
Ⅲ-2-(3)-② スポーツを通したにぎわいづくり	58	国際大会・全国大会等スポーツ開催	スポーツ振興課	市内において国際大会・全国規模の大会の開催を行い、多くの市民のスポーツに対する関心を高め、「みる」スポーツのニーズを引き出すとともに、スポーツに取り組むきっかけをつくる。また、参加選手の高いレベルに接することで、個々の競技力の向上につなげる。	国際・全国大会等の開催数	目標	26回	27回	28回	30回 (H32年度)	継続	3,650	3,650	維持	2,615	課長	0.01人	順調	継続的に国際・全国規模のスポーツ大会等の誘致を行う。	順調	「ギラヴァンツ北九州」への支援を継続し、本市のシンボルチームとして、市民への更なる定着を目指すとともに、ミクニワールドスタジアム北九州の活用や広報活動の強化に取り組み、平均入場者数やスポーツ観戦率の増加に取り組む。 また、プロスポーツの観戦招待や国際大会・全国大会等の開催、ラグビーワールドカップ2019日本大会や2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会等の大規模国際大会のキャンプ地誘致等により市民全体の機運を高め、スポーツの振興はもとより、まちのにぎわいづくりを図る。	
						実績	26回										係長					0.10人
						達成率	100.0%										職員					0.20人
59	ギラヴァンツ北九州支援事業	スポーツ振興課	本市のシンボルチームである「ギラヴァンツ北九州」を支援するため、ホームゲーム開催経費や遠征費の一部を補助。	ギラヴァンツ北九州の市民認知度	目標	90%	90%	90%	90% (毎年度)	継続	60,000	50,000	減額	3,075	課長	0.05人	やや遅れ	「ギラヴァンツ北九州」への支援を継続し、本市のシンボルチームとして、市民への更なる定着を目指す。				
					実績	83%										係長					0.10人	
					達成率	92.2%										職員					0.20人	
60	ホームタウン推進事業	スポーツ振興課	本市をホームタウン・準ホームタウンとする、「ギラヴァンツ北九州」や「塚原レイザーズ」「福岡ソフトバンクホークス」等の市民観戦事業や、体験教室の開催など、市民がスポーツに親しむきっかけ作りを実施。	スポーツ観戦率	目標	40%	40%	40%	40% (H32年度)	継続	64,450	63,450	維持	6,575	課長	0.05人	やや遅れ	市民観戦事業や、体験教室の開催等を継続し、市民が競技レベルの高いプロスポーツなどを「みる」機会の充実を図るとともに、スポーツに親しむきっかけづくりに取り組む。				
					実績	27%										係長					0.15人	
					達成率	67.5%										職員					0.60人	

【Plan】 計画 / 【Do】 実施												【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の方向性	H29年度 予算額 （千円）	H30年度 予算額 （千円）	事業費の増減	人件費（目安）			H28年度 事業評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H28年度 局施策 評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	
					指標名等	現状値 （基準値）	H28年度	H29年度	H30年度					中期 目標	金額 （千円）	職位					人数
61	大規模国際大会誘致関係事業	大規模国際大会誘致推進室	生涯スポーツの振興やまちの賑わい創りに繋がる大規模国際大会の試合会場、及びラグビーワールドカップ2019や2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会のキャンプ地を本市に誘致すること、並びに誘致前後のスポーツ交流や文化交流等へと繋げることを目的として、誘致プロモーションの展開や官民一体となった「誘致委員会」による積極的な活動を行う。	ラグビーワールドカップ2019及び2020東京オリンピック・パラリンピックにおけるキャンプ地誘致数	—	目標 戦略的な誘致プロモーション活動等の実施	実績 —	達成率 —	1ヶ国又は1競技以上（H31年度）	継続	71,950	62,000	減額	54,000	課長 1.00 人	係長 2.00 人	職員 3.00 人	順調	ラグビーワールドカップ2019については、ウェールズ代表による本市での事前キャンプ実施が決定しているため、今後は公認キャンプの誘致活動を進める。さらに、誘致活動に加え、ウェールズ代表受入れのための機運醸成を目的としたウェールズとの交流事業について、準備・調整等を進めていく。 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会についても、対象国に対する誘致活動を継続・強化する。本市のホストタウン相手国であるタイ王国については、卓球代表チームによる本市での合宿が決定しており、引き続き同国との交流事業を推進していく。 これらに加え、その他大規模大会についても引き続き誘致活動を促進していく。		
				国際大会や全国大会等の誘致	4件（H27年度）	目標 3件	実績 4件	達成率 133.3%	15件以上（H27～31年度）												
62	北九州スタジアム維持管理事業	スポーツ振興課	北九州スタジアムは、都心部に人が集い、にぎわいあふれる北九州市の創出を目指し、Jリーグやラグビートップリーグなどの試合、小中高生のサッカー・ラグビー大会、グラウンド・ゴルフ大会、子どもたちへの芝生開放などに加え、まちににぎわいを生み出すイベントの開催など、市民に夢と感動を提供できる施設である。施設の適切な維持管理・運営を実施することで、「みる」スポーツの機会提供の充実を図り、スポーツを通じたまちのにぎわいを生み出す。	「みる」スポーツの機会提供の充実（グラウンドの年間利用日数）	—	目標 100日	実績 100日	達成率 100%	100日（毎年度）	—	102,355	102,355	維持	2,750	課長 0.05 人	係長 0.09 人	職員 0.17 人	—	施設の適切な維持管理・運営を実施することで、「みる」スポーツの機会提供の充実を図り、スポーツを通じたまちのにぎわいを生み出す。		

市民文化スポーツ局

【Plan】 計画 / 【Do】 実施

【Check】 評価 / 【Action】 改善

施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の方向性	H29年度 予算額 （千円）	H30年度 予算額 （千円）	事業費の増減	人件費（目安）			H28年度 事業評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H28年度 局施策評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）
					指標名等	現状値 （基準値）	H28年度	H29年度	H30年度					中期 目標	金額 （千円）	職位				
Ⅲ-3-(1)-① 市民主体の地域づくりの促進	63	地域総括補助金	地域振興課	各地域団体が連携・協力し、まちづくり協議会を中心に地域が一体となった地域づくりを促進するため、これまでに市各部署が事業ごとに地域団体に交付していた補助金を可能な限り一本化し、まちづくり協議会に交付する。	地域総括補助金を導入したまちづくり協議会数	130団体 (H26年度)	目標 134 団体	134 団体	134 団体	137団体 (H35年度)	継続	389,826	332,496	その他	3,825	課長 0.05 人	順調	住民主体の地域づくり・まちづくりを促進するため、まちづくり協議会や各種地域団体に対する地域総括補助金の交付を行う。 平成30年度予算は、事業単位では減額となっているが、執行実績に基づいた見直し等によるものであり、事業は維持するもの。	順調	引き続き、地域が一体となった住民主体の地域づくり・まちづくりを促進するため、まちづくり協議会や、地域で様々な取り組みを行う各種地域団体等に対し、「地域総括補助金」の交付や、各種支援事業など地域のニーズに応じた施策を展開する。
	64	住民主体の地域づくりの促進	地域振興課	まちづくり協議会の活性化を図るため、地域課題解決のアイデア等を盛り込んだ「地域カルテ」の作成や、地域カルテに基づく活動を支援するフォローアップ事業を行うとともに、「地域づくりマネジメント研修」を開催し、住民主体の地域づくりを促進する。	地域カルテフォローアップ事業を実施したまちづくり協議会の数	—	目標 10 団体	10 団体	5 団体	住民主体の新たな地域づくりが活発に行われている状態	継続	5,726	3,012	減額	3,575	課長 0.05 人 係長 0.15 人 職員 0.20 人				
Ⅲ-3-(1)-② 地域コミュニティ施設の活用・運営	65	市民センターの充実	地域振興課	市民センターの管理運営を円滑・適正に行うため、公募により多様な人材を市民センター館長として採用し、地域の活動を担うまちづくり協議会への管理委託などを行う。また、市民センターを拠点とした地域づくりを推進するため、未整備校区に市民（サブ）センターを整備し、老朽化対策やバリアフリー化を図り計画的な改修を行う。	市民センター1館当たりの利用者数	41千人 (H27年度)	目標 42 千人	42 千人	42 千人	42千人 (毎年度)	継続	2,216,023	2,270,486	維持	46,250	課長 1.00 人	順調	市民センターを拠点とした地域づくりを促進するため、老朽化対策やバリアフリー化等ハード面を整備するとともに、円滑な施設運営ができるよう、館長及び市民センター職員の仕事環境の改善に努め、他局と協力しながら利用者の増加を図る。	順調	市民センターを拠点とした地域づくりを促進するため、老朽化対策やバリアフリー化等ハード面を整備するとともに、館長及び市民センター職員の能力向上を図る研修や、タイムリーな情報発信等ソフト面の充実にも努め、利用者の増加を図る。
					市民センターにおけるコミュニティ活動の参加人数（延べ）	2,084千人 (H27年度)	目標 2,200 千人	2,200 千人	2,200 千人	2,200千人 (毎年度)						係長 1.00 人 職員 3.30 人				
Ⅲ-3-(1)-③ 自治会・町内会への加入促進	66	自治会・町内会活性化の促進	地域振興課	自治会と連携しながら、加入率向上や組織・活動の見直し及び人材育成など新たな課題への対応につながる様々な事業に取り組み、自治会・町内会の活性化を図る。	地域づくり活動へ肯定的な考えの市民の割合	75.4% (H23年度)	目標 85 %	85 %	85 %	85% (毎年度)	継続	36,872	30,789	減額	4,095	課長 0.03 人	順調	自治会・町内会を取り巻く課題を解決し活性化を促進するために、マンション等の管理会社等の関係者に積極的に働きかけていくほか、引き続き地域コミュニティの重要性や自治会の必要性について幅広く理解を求めことに力を入れていく。 また、地域でリーダーシップを発揮する人材や地域活動の担い手育成支援を積極的に行い、自治会・町内会の加入促進や活性化を図っていく。	順調	自治会・町内会を取り巻く課題を解決し活性化を促進するために、マンション等の管理会社等の関係者に積極的に働きかけていくほか、引き続き地域コミュニティの重要性や自治会の必要性について幅広く理解を求めことに力を入れていく。 また、地域でリーダーシップを発揮する人材や地域活動の担い手育成支援を積極的に行い、自治会・町内会の加入促進や活性化を図っていく。
					地域づくり活動への参加者の割合	40.5% (H23年度)	目標 46 %	46 %	46 %	46% (毎年度)						係長 0.30 人 職員 0.10 人				

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H29年度 予算額 （千円）	H30年度 予算額 （千円）	事業費の増減	人件費（目安）			H28年度 事業評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H28年度 局施策評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	
					指標名等	現状値 （基準値）	H28年度	H29年度	H30年度	中期 目標					金額 （千円）	職位	人数					
Ⅲ-3-(2)-① NPO、ボランティア活動の支援	67	NPO・市民活動促進事業	市民活動推進課	市民活動の促進に加え、NPOと行政の協働を推進するため、活動や協働等に関する相談・助言、情報提供、研修・啓発等を実施する。	新規設立NPO法人人数（累計）	18法人 (H24年度)	目標 75 法人 実績 73 法人 達成率 97.3 %	90 法人	105 法人	105法人 (H30年度)	継続	20,137	19,990	維持	21,450	課長 0.30 人	係長 0.30 人	職員 2.00 人	順調	市民活動の裾野を広げるため、市民に対し活動のきっかけづくりとなるセミナー、講演会等を引き続き開催するとともに、地域に支えられるNPOを育成するため、研修等の充実を図る。	順調	市民活動を促進する講座の実施や情報提供の充実を図っていく。 また、NPOへの資金的な支援を引き続き行っていく。
		サポートセンター利用者数	18,362人 (H20年度)	目標 24,000 人 実績 24,222 人 達成率 100.9 %	24,500 人	25,000 人	25,000人 (H30年度)															
68	NPO公益活動支援事業	市民活動推進課	市民活動の更なる促進を支援するため、NPO等が専門性を発揮して行う活動に対し、事業費の一部を補助する。	補助交付事業件数（累計）	15件 (H21年度)	目標 74 件 実績 80 件 達成率 108.1 %	80 件	86 件	86件 (H30年度)	継続	2,489	1,989	減額	3,275	課長 0.10 人	係長 0.10 人	職員 0.15 人	順調	市民ニーズが複雑化、多様化する中、専門性や先駆性を発揮して地域課題の解決等に取り組むNPOに対して、引き続き資金的な支援を行いつつ、総合的な取組みを展開する。	順調		
				成果発表会の参加人数（累計）	26人 (H22年度)	目標 330 人 実績 331 人 達成率 100.3 %	380 人	430 人	430人 (H30年度)													
Ⅲ-3-(2)-② NPO、企業、研究機関などの連携の構築	69	多様な主体による市民活動の輪づくり事業	市民活動推進課	市民主体のまちづくりを推進するため、市民活動への理解を深め、新たな担い手の参加を促すとともに、NPOと様々な団体間のネットワークづくりや協働を支援する。	NPOと企業・地域・大学等との協働件数	5件 (H28年度)	目標 5 件 実績 5 件 達成率 100.0 %	5 件	5 件	5件 (H30年度)	継続	4,698	2,627	減額	2,470	課長 0.03 人	係長 0.10 人	職員 0.15 人	順調	市民主体のまちづくりを推進するため、企業や大学など異なる活動主体とNPOとの交流の機会を提供するとともに、地域や社会の課題解決に取り組んでいるNPOを市民や地域に広く紹介するなどして、新たな担い手の掘り起こしや団体間のネットワークの強化、自主的な協働を支援する。	順調	NPO、企業等との交流会を実施し、団体間の協働を支援する。

市民文化スポーツ局

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）						成果の方向性	H29年度 予算額 （千円）	H30年度 予算額 （千円）	事業費の増減	人件費（目安）			H28年度 事業評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H28年度 局施策評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）
					指標名等	現状値 （基準値）	H28年度	H29年度	H30年度	中期 目標					金額 （千円）	職位	人数				
Ⅲ-3-(3)-① 市民参画と協働のための仕組みづくり	70	「NPOとの協働によるまちづくり」人材育成事業	市民活動推進課	協働に関する理解を深めるための研修、協働事業を実施するために必要な団体運営力向上を図るための研修を実施する。 また、経済的に自立したNPOの増加を図るため、資金調達力や企画力の向上を図るセミナーを実施する。	NPOとの協働についての研修への参加者数（累計）	目標	1,000人	1,250人	1,500人	1,500人 (H30年度)	継続	1,962	2,227	増額	7,550	課長	0.20人	順調	協働を促進するため、協働意識向上のための研修、NPOの人材育成や運営力向上に資するセミナーを充実させる。	順調	多様な主体の協働によるまちづくりを推進するため、協働への理解を深めるセミナーや、協働事例の発信に取組み、協働を進めるための人材育成に努める。 また、NPOや企業との交流会等の側面的な支援も実施する。
						実績	1,275人									達成率	127.5%				
71	多様な主体による市民活動の輪づくり事業	市民活動推進課	市民主体のまちづくりを推進するため、市民活動への理解を深め、活動新たな担い手の参加を促すとともに、NPOと様々な団体間のネットワークづくりや協働を支援する。	NPOと企業・地域・大学等との協働件数	目標	5件	5件	5件	5件 (H30年度)	継続	4,698	2,627	減額	2,470	課長	0.03人	順調	市民主体のまちづくりを推進するため、企業や大学など異なる活動主体とNPOとの交流の機会を提供するとともに、地域や社会の課題解決に取り組んでいるNPOを市民や地域に広く紹介するなどして、新たな担い手の掘り起こしや団体間のネットワークの強化、自主的な協働を支援する。	順調		
					実績	5件									達成率	100.0%					係長
Ⅲ-3-(3)-② 市民との協働を推進できる仕組みづくり	72	NPO・市民活動促進事業	市民活動推進課	市民活動の促進に加え、NPOと行政の協働を推進するため、活動や協働等に関する相談・助言、情報提供、研修・啓発等を実施する。	新規設立NPO法人数（累計）	目標	75法人	90法人	105法人	105法人 (H30年度)	継続	20,137	19,990	維持	21,450	課長	0.30人	順調	市民活動の裾野を広げるため、市民に対し活動のきっかけづくりとなるセミナー、講演会等を引き続き開催するとともに、地域に支えられるNPOを育成するため、研修等の充実を図る。	順調	市民との協働を推進するため、セミナー等の充実、協働事例の情報提供に取り組む。
						実績	73法人									達成率	97.3%				
73	「NPOとの協働によるまちづくり」人材育成事業	市民活動推進課	協働に関する理解を深めるための研修、協働事業を実施するために必要な団体運営力向上を図るための研修を実施する。 また、経済的に自立したNPOの増加を図るため、資金調達力や企画力の向上を図るセミナーを実施する。	NPOとの協働についての研修への参加者数（累計）	目標	1,000人	1,250人	1,500人	1,500人 (H30年度)	継続	1,962	2,227	増額	7,550	課長	0.20人	順調	協働を促進するため、協働意識向上のための研修、NPOの人材育成や運営力向上に資するセミナーを充実させる。	順調		
					実績	1,275人									達成率	127.5%					係長
				収入増加団体数（累計）	目標	8団体	10団体	12団体	12団体 (H30年度)						課長	0.20人					
					実績	9団体									達成率	112.5%					係長

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の方向性	H29年度 予算額 （千円）	H30年度 予算額 （千円）	事業費の増減	人件費（百安）			H28年度 事業評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）	H28年度 局施策評価	H30年度に向けて強化・見直した内容 （課題に対する改善方法等）
					指標名等	現状値 （基準値）	H28年度	H29年度	H30年度					中期 目標	金額 （千円）	職位				
IV-2-(2)-② ソーシャルビジネス創出の支援	74	市民活動団体等による環境未来都市推進支援事業	市民活動推進課	環境未来都市計画が掲げる目標を達成するため、NPOなどの提案団体と市が協働して取り組む事業に経費の一部を補助。	補助交付事業件数 （累計）	6件 （H24年度）	目標 25 件 実績 27 件 達成率 108.0 %	31 件	36 件	36件 （H30年度）	継続	5,206	4,206	減額	3,275	課長 0.10 人 係長 0.10 人 職員 0.15 人	順調	協働の理解浸透を図る研修や事業の事例紹介等を通して、行政等と協働できるNPOの育成に努める。 また、NPOに資金的な支援をすることにより、行政、企業、地域と協働して行う事業の立ち上げを支援する。	—	協働の理解浸透を図る研修や事業の事例紹介を通じ、NPOによる環境未来都市を推進するための事業を支援する。
IV-4-(1)-② 偉人・先人の顕彰	75	文学館普及研究費	文学館	北九州市ゆかりの文学者の業績を企画展等で紹介するとともに、本市の文芸の振興に功績のあった文学者を市内外に発信する。	入館者数 （単位：人）	10,741人 （H23年度）	目標 22,000 人 実績 24,743 人 達成率 112.5 %	22,000 人	22,000 人	22,000人 （H30年度）	継続	18,624	19,455	維持	12,625	課長 0.50 人 係長 0.50 人 職員 0.25 人	順調	施設の認知度を高め、これまで以上に市民が文学に接する機会の提供に努め、入館者数の増に繋げるもの。	—	施設の認知度を高め、これまで以上に市民が文学に接する機会の提供に努め、入館者数の増に繋げていく。
	76	松本清張記念館研究センター・普及事業	松本清張記念館事務局	松本清張に関するあらゆる資料を収集・整理し、松本清張の「人と作品」を研究する調査研究・資料収集事業の実施や研究誌を発行する。また、松本清張研究者に奨励金を贈呈する研究奨励事業を実施する。さらに、企画展の開催や講演会、読書感想文コンクールなどの市民文芸活動支援事業を行う。	松本清張記念館の入館者数	58,187人 （H22年度）	目標 前年度 （46,278人） 比増 実績 48,404 人 達成率 104.6 %	前年度比 増	前年度比 増	前年度比 増	前年度 比増 （毎年度）	継続	14,918	27,841	増額	23,250	課長 0.50 人 係長 1.00 人 職員 1.00 人	順調	開館20周年の節目の年にあたり、多くの方に松本清張や記念館の魅力を伝え、入館者の増加を図るため、魅力ある企画展や記念講演会などを開催する。	順調
IV-4-(2)-③ 都市イメージの向上	77	映像製作誘致強化関連事業	文化企画課	映画・テレビドラマ等のロケ地誘致や撮影支援を積極的にを行い、本市の知名度と都市イメージの向上を図る。また、活動成果の市民との共有や、「映画の街・北九州」という新たな都市ブランドの発信により、街のにぎわいの創出や市民交流等のまちづくりにつなげる。	地域経済への貢献 （直接経済効果）	100,000千円 （H21年度）	目標 110,000 千円 実績 408,148 千円 達成率 371.0 %	110,000 千円	500,000 千円	500,000千円 （H30年度） 以降 毎年度	拡大	56,388	49,388	減額	36,100	課長 0.40 人 係長 1.80 人 職員 1.80 人	大変 順調	「映画の街・北九州」ブランドを国内外に発信するために、タイや韓国、中国をターゲットとして海外の映画・テレビドラマの誘致に取り組んできたが、ターゲットを台湾やシンガポールにも拡大する。	大変 順調	アジアを中心とする海外作品の誘致に積極的取り組み、「映画の街・北九州」という都市ブランドを国内外に広く発信していく。
					北九州フィルム・コミッションの市民への認知度	59.8% （H25年度）	目標 65.0 % 実績 72.6 % 達成率 111.7 %	75.0 %	80.0 %	80.0% （H30年度）										
VI-1-(1)-① 市民の力で環境力を高める仕組みづくり	78	市民活動団体等による環境未来都市推進支援事業	市民活動推進課	環境未来都市計画が掲げる目標を達成するため、NPOなどの提案団体と市が協働して取り組む事業に経費の一部を補助。	補助交付事業件数 （累計）	6件 （H24年度）	目標 25 件 実績 27 件 達成率 108.0 %	31 件	36 件	36件 （H30年度）	継続	5,206	4,206	減額	3,275	課長 0.10 人 係長 0.10 人 職員 0.15 人	順調	協働の理解浸透を図る研修や事業の事例紹介等を通して、行政等と協働できるNPOの育成に努める。 また、NPOに資金的な支援をすることにより、行政、企業、地域と協働して行う事業の立ち上げを支援する。	順調	協働の理解浸透を図る研修や事業の事例紹介を通じ、NPOによる環境未来都市を推進するための事業を支援する。